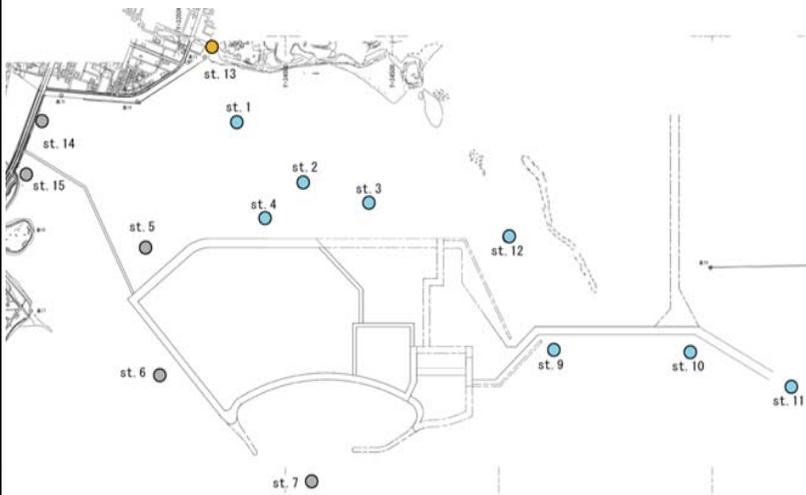


第8回(11月期モニタリング/フィードバック 月例会議)

対象期間:平成30年11月1日～平成30年11月30日 那覇港湾・空港整備事務所

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	クビレミドロ監視地点及び、工事の濁り監視地点の全てで、監視基準を満足していた。 クビレミドロ監視地点での最大値は11月7日のst.1で6.4mg/Lであった。 工事の濁り監視地点での最大値は11月7日のst.4で6.8mg/Lであった。			
	水質調査結果	クビレミドロ監視地点基準値【st.1～3:SS=7mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=7mg/L)を満足していた。 平均値は3.6mg/L、1.8～6.4mg/Lの範囲で推移していた。	調査期間中は、県道20号線(泡瀬工区)の床掘り、汚濁防止膜移設・設置、コンクリート打設、鋼管杭打設、土砂埋戻し、矢板板引抜き、汚濁防止膜撤去・設置、養浜砂投入、汚濁防止膜組立・設置等が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。 国施工の工事は共通工(汚濁防止膜撤去・搬出)、上部工(支保組立・撤去、型枠組立・脱型、生コン打設)、基礎工(捨石運搬・投入・均し・法面整形)が行われていたが、施工箇所からの濁りの拡散は確認されなかった。
		工事の濁り監視地点基準値【st.4～12:SS=11mg/L】	全ての地点で、監視基準(SS=11mg/L)を満足していた。 平均値は2.0mg/L、0.3～6.8mg/Lの範囲で推移していた。	
		流入部負荷量の調査地点	SS=11mg/Lを超えた回数: st.13=25回(30計測中) SS=50mg/Lを超えた回数: st.13=1回(30計測中) 平均値は20.0mg/L、9.0～52.8mg/Lの範囲で推移していた。	
		流入水路部調査地点(st.13)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。	11/4の52.8mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日8.0mm、前日52.0mm、当日4.5mmであり、降雨による濁水流入もみられた	
基準超過時の気象概況	・全ての地点で、監視基準を満足していた。		【調査位置図】 	
基準超過時の工事状況	全ての地点で、監視基準を満足していた。			







第8回(11月期モニタリング／フィードバック 月例会議)

対象期間:平成30年11月1日～平成30年11月30日 沖縄県調査分

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	<p>調査地点の最高値は11月3日(AM)のst.5で観測された8.4mg/Lであった。 期間中は、全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
	水質調査結果 詳細結果	<p>工事の濁り監視地点基準値【st.5～8:SS=11mg/L】</p>	<p>期間中は、全地点で工事監視基準値を満足した。 平均値は2.3mg/L、&lt;1.0～8.4mg/Lの範囲で推移していた。</p>	特になし
		<p>流入部負荷量の調査地点</p>	<p>SS=11mg/Lを超えた回数: st.14=30計測中26回 st.15=30計測中24回 ----- SS=50mg/Lを超えた回数: st.14=30計測中3回 st.15=30計測中0回</p>	特になし
		<p>流入水路部調査地点(st.14、st.15)は監視地点ではないため、基準値は設定されていない。</p>	<p>st.14:11/24 (PM 上げ潮時)67mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.5mm、前日が0.0mm、当日が1.0mmであった。降雨による濁水流入はみられなかった。 st.15:11/3 (PM 下げ潮時)45mg/Lが最大値であった。 なお、降水量は前々日が0.0mm、前日が8.0mm、当日が52.0mmであった。降雨による濁水流入がみられた。</p>	
基準超過時の気象概況	<p>基準超過時の気象概況は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
基準超過時の工事状況	<p>基準超過時の工事内容は以下の通りであった。</p> <p>全ての調査地点において工事監視基準値を満足していた。</p>			
			<p>【調査位置図】</p>	



